



新宮少年柔道クラブ大活躍!!

4月21日に、猪野かみじ会館(久山町)で「第55回伊野天照皇大神宮奉納武道大会」が開催され、町スポーツ協会所属の新宮少年柔道クラブの選手が次のとおり優秀な成績を収めました。5年ぶりの伝統の大会に、大いに盛り上がり、各階級で熱戦が繰り広げられました。

【個人戦】〈1・2年生女子〉優勝：原田和佳 〈3年生女子〉準優勝：渋谷文那 〈4年生男子〉準優勝：木村浩人 〈5年生男子〉3位：廣渡樹 〈5年生女子〉3位：藤田紗那 〈6年生女子〉準優勝：高倉あや花 〈中学2年生男子〉優勝：花田粋 〈中学2年生女子〉3位：原田珠晴 〈中学3年生男子〉3位：鯨島隆太郎、樋口悠太郎 〈中学3年生女子〉準優勝：大田かもめ、3位：原口和夏葉



▲満足のいく結果に笑顔の選手たち

音楽と笑顔が満ちる「ほたるコンサート」

6月2日、的野にある「ギャラリーみかみ」でほたるコンサートが開催されました。5組のアーティストによる演奏・歌唱が行われ、緑豊かなステージから奏でられる音楽に観客も聞き惚れている様子でした。観客からは「幻想的な雰囲気の中、心地の良い音楽を聴くことができとても良かった。みんなが笑顔で温かい気持ちになった」との声が聞かれました。

コンサート以外にもキッチンカーや屋台も出店され、お腹も心も満たされた1日となりました。



▲音楽の調べが観客の心に響きます

武神会 大会で好成績

4月14日に、かすやドーム(粕屋町)で「第3回ドリームステージ武神空手形幼少年女子混合トーナメント」が行われ、町スポーツ協会所属の武神会新宮道場が参加しました。総勢170人を超える選手が日々の鍛錬の成果を発揮し、形を競い合いました。

高津真世さんと毛利伊吹さんが上級の部でベスト8という輝かしい成績を収めました。他の選手も日ごろの成果を発揮し、今まで以上に成長した大会となりました。



▲高津真世さん(中央左)と毛利伊吹さん(中央右)

熱戦が繰り広げられた対局

5月26日にそぴあしんぐう交流室で将棋同好会主催の「第42回新宮町将棋大会」が開催されました。18人が参加し、コロナ禍を経て5年ぶりの開催に大いに盛り上がりしました。

【王将戦】1位：川原有紀 2位：佐藤幸四郎

【龍馬戦】1位：平木徹之 2位：熊本洋市

【棋岳(ぎがく)戦】1位：田添忠彦 2位：榊正武 3位：大坪俊幸



▲白熱した対局

障害馬術競技で奮闘!!

4月27日～29日に三木ホースランドパーク(兵庫県)で開催された「第26回みっきいホースフェスティバル馬術大会」に、新宮東中学校1年生の高瀬早葵さん(カナディアンキャンプ乗馬クラブ所属)が参加しました。障害馬術競技は、馬と共に障害物を跳び越える技術やスピードを競うスポーツです。150人を超える選手が激戦を繰り広げるなか、高瀬さんはパートナー(馬)のベンと80cmのクラスに出場し、健闘しました。

5月11日、12日には福岡県馬術競技場(古賀市)で開催された「2024福岡馬事公苑HORSE SHOW」の低障害飛越競技で見事優勝を収めました。高瀬さんは「練習を頑張って、次はもっと高い障害でも入賞したい」と語っていました。



▲人馬一体となって頑張りました

読書ボランティアさんありがとう!

4月23日～5月12日の「こどもの読書週間」にあわせて、5月11日にシーオーレ新宮で「おはなし会スペシャル」を開催しました。子どもたちが本に興味を持つきっかけになるよう毎年行っています。

読書ボランティアによる、布の大型芝居や特大絵本の読みきかせ、パネルシアター、手あそび歌、親子で新聞紙と折り紙でヨーヨーを作る工作など、いつもと違うおはなし会に子どもたちは大喜びでした。参加者からは「布の大型芝居をはじめて見ました。図書館にこんな作品があるんですね」と驚きの声が聞かれました。

通常の幼児向けおはなし会「コロちゃんのおはなし会」は毎週土曜日午前11時から、図書館おはなしコーナーで行っていますので、ぜひ参加してください。



▲しんぐう語りの会による読みきかせ



▲マドレーヌによる布の大型芝居「じごくのそうべえ」



昔ながらの手作業で田植え体験

5月30日に、立花小学校の5年生が田植え体験をしました。立花小おやじの会や、米作りボランティアのみなさんの指導のもと、一列に並び苗を植えました。

泥に入るときの不思議な感覚に戸惑ったり、カエルやザリガニなどの生き物に驚いたり足が抜けずに助けを求めたりと歓声をあげながら田植え体験を楽しむ様子が見られました。

足を抜いては土をならし、目印に沿って少しずつ後ろに移動しながら植える作業を繰り返した子どもたちからは「普段食べているお米を作る大変さを知った。お米作りに関わってくれる人たちに感謝したい」との声が聞かれました。



▲「おいしく育ってね♪」と笑顔いっぱい



▲危機一髪で全身泥まみれを回避！

学ぼう！新宮の歴史 ～下府ぶらり～

6月6日に町教育委員会主催事業「歴史探索講座～下府ぶらり～」が開催されました。まちづくり活動支援団体・文化協会所属の新宮町歴史と自然保護の会のみなさんを講師にお招きし、下府を中心に歴史散策をしました。当日は、26人の参加があり、馬頭観音菩薩や興雲寺、人丸神社などをめぐり、町の歴史を学びました。特に、人丸神社は、改修工事前最後の歴史ある社殿を見学することができました。参加者からは、「地元なのに知らないところがたくさんあってとても勉強になった」との感想が聞かれました。



▲人丸神社を見学！散策日和でした

道雪会 春の講演会

5月26日にそびあしんぐうで、道雪会が主催する「徳川家康～その時宗茂は～」を演題とした講演会がありました。今長谷照子さん(元篠栗町立図書館副館長)を講師として、徳川家康の生涯にあわせて、その時々立花宗茂の生きざまをわかりやすく紹介され、参加者は聞き入っていました。

「復活の大名といわれる立花宗茂とその父である、一度も大敗したことのない武将として知られている立花道雪の生き方は現代にも通ずるものがある」と熱く語っていました。

まちづくり活動支援団体「道雪会」は、かつて戦国時代に立花山に存在し、筑前の要塞として知られた「立花山城」の城主であった立花道雪、道雪の娘で女城主となった閨千代、その夫の立花宗茂についての歴史研究をしながら、「宗茂・閨千代」を主人公としたNHK大河ドラマを招致する活動をしている団体です。



▲歴史をこよなく愛す語り手 今長谷さん